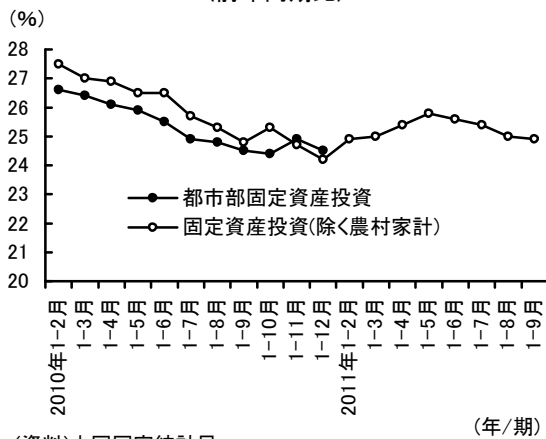


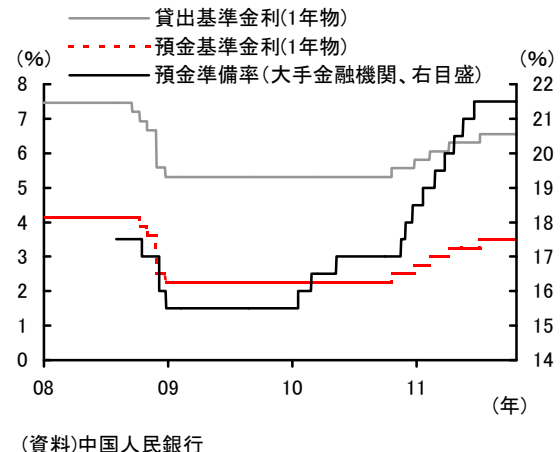
# 中国の固定資産投資は高い伸びを維持する見通し

- (1) 中国の固定資産投資の伸び率は2011年5月をピークに低下基調(図表1)。
- (2) 要因として以下2点が指摘可能。
- ①2010年10月以降の金融引き締め政策(図表2)。これを受けて、過剰生産能力が懸念される加工型製造業などでは、中小零細企業を中心に投資減速(図表3)。
  - ②公共投資急増の反動。2009~2010年に4兆元の景気対策により、インフラ建設が急増。2011年入り後、その反動で高速道路建設は減速、鉄道投資は前年比マイナスに(図表3)。
- (3) もっとも、固定資産投資の伸び率の低下は小幅で、総じてみれば高い伸びが持続。今後を展望しても以下3点により、中国の投資は堅調に拡大し、景気の下支え役となる見通し。
- ①金融引き締め政策の一服。インフレ沈静化を背景に、金融当局は様子見に入る見込み。
  - ②公共投資の反動減の一巡。今後は内陸部を中心に緩やかな増加傾向に持ち直す公算大。
  - ③サービス産業の投資積極化。沿海部の大都市を中心に、サービス市場が急拡大していることが背景(図表3、4)。

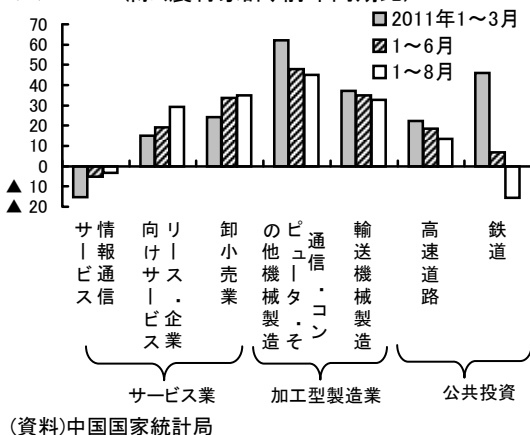
(図表1)固定資産投資の推移  
(前年同期比)



(図表2)金利、預金準備率の推移



(図表3)業種別固定資産投資  
(除く農村家計、前年同期比)



(図表4)地域別固定資産投資  
(除く農村家計、前年同期比)

